

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和4年度第2回大野北公民館運営協議会		
事務局 (担当課)	大野北公民館 電話042-755-6601		
開催日時	令和4年11月17日(木) 午後7時00分～8時50分		
開催場所	大野北公民館 大会議室		
出席者	委員	16人(別紙のとおり)	
	事務局	4人(峰尾館長代理、古賀主事、織田主事、角田主事)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 報 告</p> <p>(1) 大野北中学校の生涯学習ルーム閉室について</p> <p>(2) 淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) スポーツ推進委員の推薦について</p> <p>(2) 公民館の事業実施状況について</p> <p>(3) 公民館70周年記念誌の発行について</p> <p>(4) その他</p>		

協 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 報 告

(1) 大野北中学校の生涯学習ルーム閉室について

生涯学習課から、生徒数の増加によりクラス数が増え、閉室することになった経緯の説明があった。

○ 空き教室がなくなった事情はわかったが、プレハブの設置や別の施設の活用等について検討したのか。

● 近隣の学校等を探したが、どこにも空き教室がなく、近隣にプレハブが建てられる空き地もなかった。

○ 足を使って努力してほしい。

(2) 淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて

生涯学習課から、次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりの取組について説明があった。

2 議 題

(1) スポーツ推進委員の推薦について

事務局から説明を行い、推薦委員会を1月に、会長、副会長、小委員会各委員長の5名の構成員で行うことでした。

(2) 公民館の事業実施状況について

事務局から、7月から10月に実施した事業について、報告を行った。

(3) 公民館70周年記念誌の発行について

事務局及び猪口学習文化委員会委員長から記念誌作成の進捗状況について説明があった。

○ 発行部数について、1500部必要だろうか。

○ 部数の根拠はあるのか。

○ 50周年の時は1,000部発行していた。単価と総額から計算して、部数を初めに決めた。

○ 自治会の数など、販売見込み数から算出したほうがよいのでは。作品はこのあとどうするのか？自分のものが載ると、買いたいと思うのでは。

○ それを狙って作品を募集した。利用サークルで150部ほどは買ってもらえるのではないかという予想。自治会で200部は買ってもらえないか。自治会館にも置いてもらいたい。部数の計算は、学習文化委員会とは別の会でやってもらうべきだった。応募作品については、展示会を春には開催したい。収入不足分はバザーを開催して補いたい。寄贈は学校・児童館・こどもセンター、医療機関、薬局、介護施設などに置く予定。介護の現場で、回想法というのが有効であるため、市民みんなが活用できるように考えている。

- 50周年のときは、協賛金を250万集めた。記念誌は1,000部で120万かかっている。今回は、前回とは全く違う。500部でも厳しいのではないか。自治会でも予算を組んでいるわけではないし、自治会を含めて作ればよかった。どういう人が買ってくれるか、売り方についてみなさん提案してほしい。
- 現在の予約販売数54部は、販売予定数600部に対して9%。前回の実績に基づいて、ロジカルに考えるべきではないか。600部売れる見込み、お願いではまかり通らない。
- 販売を考えると、今のやり方は甘い。ただ、500冊増えた場合の金額の差を考えると、寄贈・ストック分を多く持つておくのも良いのではないか。自治会にしても、趣旨を理解してくれる人が買ってくれないか。
- 自治会には置く場所や閲覧するような場所がない。発行までに目途をつけないと後から売ろうというのは無理。購入ではなく、配るにしても800冊はけるといのは大変なことである。
- 何部売れそうか、という数字を積み上げないとわからない。
- お金のことはほかの委員会でやってほしい。1,000部を下回ったら赤字になると思われる。印刷業者に出せないのであれば、カラーコピーをしてでも残そうかと考えている。
- 1,500部だと赤字幅が大きくなる。在庫も少ない方がよく、200部くらいでよい。本当に欲しい人に渡すのが記念誌だと思う。
- 何部なら売れるか、積み上げで800という数字は出てこない。
- 800は目指した数字、700売れば大丈夫
- 自分のものが載ったら買ってくれるかというのは昔の考え方。今は、入選作品として何かに掲載される場合も匿名である。発行物を欲しいという人は周りにいない。1500部は絶対無理。ものとしては大変素晴らしいので、ページ数を60ページに増やしてもいいくらい。
- 700部だと、赤字が出るが、バザーなどで補填できる。今作っているものは最後までやる。次の80周年の時には役割分担をきちんとして、5年前くらいから準備した方がよい。
- これだけ良い作品が集まって良いものができるのだから、作ってもらった方がよい。たとえ単価が上がったとしても、1000部よりも500部のほうが赤字が少ない。
- 協力のお願いで頭を下げてもらえれば。あと5~6年で建物が移動すると思うが、赤字は誰が責任を取るのか。500部くらいが妥当ではないか。
- 今回は白紙撤回して、作品は残しておいて、移転のときに、さよなら公民館として発行した方がインパクトがあるのでは。
- 70周年の公民館の取り組みだけではなく、地域のことを残そうという面もある。
- ここまでやってきて、後にするのは無理がある。このタイミングで出した方がよい。1500では無理という結論、1000にするのか500にするのかは引き続き検討。協賛金については紹介してもらいたい。2口、3口と出してもらって積み上げていく。

- 学習文化委員会のメンバー7人では手が足りないため、力を貸していただきたい。
- 積極的にどれかには携わっていただきたい。

(4) その他

事務局から、1月20日に杜のホールはしもとで開催予定の県公民館大会について報告があった。

以 上

大野北公民館運営協議会委員出欠席名簿

氏 名	選 出 母 体	備 考	出欠席
小川 紳夫	公民館長	会 長	出席
二宮 昭夫	淵野辺小学校長		欠席
小林 知昭	共和中学校長		欠席
山口 信郎	大野北地区自治会連合会	副会長	出席
飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会		出席
林 知治	大野北地区自治会連合会		出席
森光 雄一郎	大野北青少年健全育成協議会		出席
岡 純正	大野北地区老人クラブ連合会		出席
佐藤 幸一	にこにこ星ふちのべ商店会		欠席
今西 克弥	PTA 大野北ブロック (淵野辺小学校 PTA)		出席
柿沼 秀康	大野北地区社会福祉協議会		出席
小野澤 行雄	地区民生委員児童委員協議会		出席
猪口 敦子	大野北公民館利用サークル		出席
上遠野 イク子	大野北公民館利用サークル		出席
緒方 祐美	大野北公民館利用サークル		欠席
岡本 誠	社会教育有識者		出席
大橋 千景	社会教育有識者		出席
河本 耕生	公募		出席
柴田 孝子	公募		出席
清水 博登	公募		欠席
原田 俊治	青少年指導委員大野北地区協議会		出席
長田 文成	スポーツ推進委員大野北地区協議会		欠席
市橋 まゆみ	広報部会		欠席